



いしかわ労福協

第 483 号 2008年4月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
 発行責任者 上田弘志
 編集人 綿 征一
 〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
 電話 (076) 231-1737
 FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
 毎月1回 25日発行
 定 価 一部 20円
 昭和39年3月30日 第三種郵便物認可

石川労福協第6回理事会

2008年度活動方針(案)等を協議



県労福協の第6回理事会が4月18日(金)フレンドパーク石川で開かれ、2007年度の決算報告の承認や、5月28日に開催する「第46回石川労福協通常総会」議事案件、「緊急サポートネットワーク事業」の利用会員に対する補助制度の一部改正、石川労福協旅費規程の一部改正、個人情報保護方針の制定等について協議。

その他、第1回住宅生協対策委員会や第5回福祉基金管理委員会、中央労福協主催の第1回地方労福協会議等について報告した。

尚、今総会は役員改選期となる。

活動方針(案)の具体的な課題として、「ライフ・サポートセンター」結成6年目を迎えるにあたり、県内における労働者福祉運動の拠点として充実・強化するため、新たに「無料職業紹介所・ジョブいしかわ(仮称)」を開設し、県内労働者の就業支援を行う。また、未組織労働者の労金利用を促進する「石川勤労者互助会」の事務局を担う。さらに、福祉なんでも相談と連合労働相談を一体化し、子育て支援・緊急サポート事業をトータルで運営する「暮らしの総合サポートセンター」を目指す。

また、政策制度・自治体要請行動では、石川県および市町に対し福祉政策を提起し、労福協および各福祉事業団体に対する補助金等の助成を要請することや、各事業団体の経営基盤強化のため、労福協理事会とライフ・サポートセンター、連合石川および連合地協、退職者連合との連携を強固なものにし、

活動の基調

1. 労働者自主福祉活動の展開

中央、中部労福協と連携し「人とくらし、環境に優しい福祉社会の実現」にむけて、労働者自主福祉活動の充実をはかる。

2. 事業団体の基盤強化

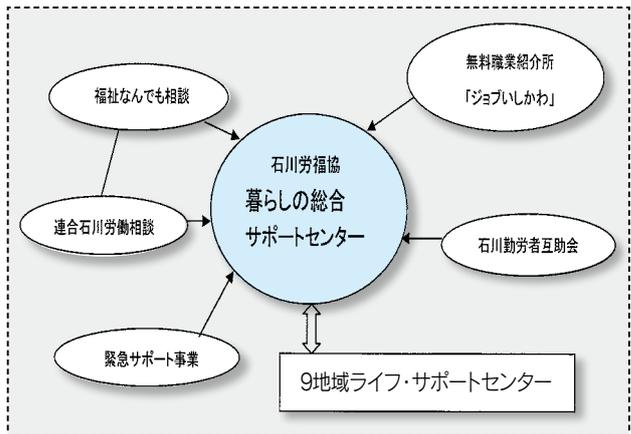
労福協加盟の各事業団体が相互理解と協力で事業基盤を強化し、労働者・退職者の生涯福祉の向上をめざす。

3. 政策制度要求の実現

連合石川および推薦議員団と連携を密にし、各自治体に対し労働者福祉施策の充実を求める。

4. 地域活動、社会貢献活動の展開

県および地域ライフ・サポートセンターの活動の輪を広め、子育て支援、なんでも相談、無料職業紹介の各事業を展開する。



県内における労働者福祉の向上を図る。

その他、石川県勤労者福祉文化会館(フレンドパーク石川)の運営では、諸問題をフレンドパーク運営委員会で協議し、会議室・ホールの利用増やホームページの充実を図り、国際交流の取り組みでは、中国蘇州市総工会との交流が今年で20年目となり、今年度は蘇州市総工会の訪日を歓迎し交流を深める。また、ILO海外労働事情視察団、第40次欧州労働者福祉視察団への代表派遣も盛り込んでいる。

第5回労働者福祉基金管理委員会



平成19年度の「第5回労働者福祉基金管理委員会」が3月26日、フレンドパーク石川で管理委員会の上田弘志委員長や澁谷秀行石川県商工労働部労働企画課長、吉田歩金沢市産業局労働政策課長、各事業団体の委員ら9名が出席して開かれた。

委員会では、平成19年度運用益2,992,437円をライフ・サポートセンターの「子育て支援」や「福祉なんでも相談」、「退職前セミナー」に活用することを確認した。また、平成20年度の事業計画などについても協議した。

この基金は、県内の労働者福祉運動を推進するための財政基盤を確立することを目的とし1976年10月より実施。自治体(石川県と県内全市)や事業団体(労金、全労済、住宅生協、労信協、生協連)、個人などの拠出により、平成20年3月末で積立総額459,581,356円となる。

尚、来年度の「第6回労働者福祉基金管理委員会」は、決算終了後の4月初旬に開催の予定。

第5回住宅生協サポート委員会

第5回住宅生協サポート委員会が4月14日、フレンドパーク石川で開催。上野貞彦常務理事がチラシなどによる広告宣伝や現地販売会の事業活動を説明した。また、矢島幸雄理事長が「今年度、収支の上積みをするべく理事や労働組合、事業団体、ライフ・サポートセンターの協力で努力してきたが、サブプライム問題など土地・住宅販売部門は低迷を続けており、当生協は'07年度も厳しい状況となった」と説明した。

尚、5月23日に開催される「第46回通常総会」では、より活動を強化する「事業計画」(案)を提案することを確認した。



事務局日誌

<3月>

- 25(火) 福島県労協視察受入 フレンドパーク石川
- 26(水) 石川県社会福祉審議会 老人福祉専門分科会 石川県庁
- 〃 第5回労働者福祉基金管理委員会 フレンドパーク石川
- 〃 さわやかU第3回理事会 労済会館
- 〃 第5回労信協理事会 フレンドパーク石川
- 27(木) 中部会館協第3回幹事会 砺波市
- 28(金) 北陸労金石川勤労者互助会総会 マリエールオークバイン
- 〃 ろうきん運動推進委員・石川県推進委員合同会議 マリエールオークバイン

<4月>

- 1(火) 事務局会議 フレンドパーク石川
- 7(月) 統一メーデー第2回常任実行委員会 フレンドパーク石川
- 8(火) 消団連第5回幹事会 フレンドパーク石川
- 10(木) 中部労協第1回幹事会 京都市
- 14(月) 第5回住宅生協サポート委員会 フレンドパーク石川
- 15(火) 中央労協公益法人制度改革勉強会 東京都
- 16(水) 食・緑・水ネット第3回幹事会 東横インホテル
- 18(金) 労福協会計監査 フレンドパーク石川
- 〃 第6回石川労協理事会 フレンドパーク石川
- 〃 石川労協第3回人事委員会 フレンドパーク石川
- 22(火) 第24回ユニオントラベル協力委員会 フレンドパーク石川

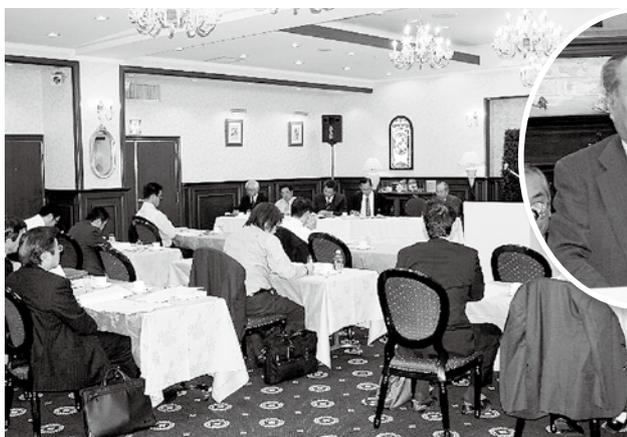
子育て支援 いしかわ緊急サポートネットワーク

会員募集状況／サポート状況 3月31日現在

地域センター	サポート会員	利用会員	サポート回数
すず	6	5	3 0
わじま	2	8	3 0
ななお	6	3	2 (+1)
はくい	1	5	0 0
かほく	12	45 (+3)	47 (+12)
かなざわ	88 (+2)	240 (+14)	444 (+54)
はくさん	25	57 (+2)	73 (+7)
こまつ・のみ	14	27 (+1)	37 (+9)
かが	3	4	0 0
計	157 (+2)	394 (+20)	609 (+83)

※()は前月比。尚サポート回数は、今年度の総数

石川県勤労者互助会「第1回総代会」 全ての勤労者の生活改善を目指す新組織が発足!



川口会長

石川県勤労者互助会「第1回総代会」が3月28日(金)、マリエールオークパインで代議員12名中10名の出席で開催された。

石川県勤労者互助会は、北陸一円に居住または勤務する勤労者の生活の安定と向上を目的とした、これまでの「北陸勤労者互助会」の精神を継承発展させるべく、この春の設立を目指してきた。

総代会では、開会の辞を綿征一氏が述べ、大会議長に才田巖氏、大会書記に山口隆氏、議事録署名人に高野洋・中江川和臣の両氏を選任。川淵尚志北陸労働金庫理事長の挨拶の後、規約並びに設立の議案、北陸労働金庫への加入、2008年度の活動方針と予算、初代役員を選任に関わる議案を長田孜氏が提案、質疑の後、全議案が承認された。

新役員を代表して、川口昭一新会長が「組織率の減少、金融競争の激化の中で、未組織を中心とした労金運動の発展・基盤拡大が主要な課題と認識している。従って、本互助会の立ち上げに当たり、文字通り各地区常任推進委員会・労金役職員の皆さんと力を合わせ、組織強化に頑張ってもらいたい」と挨拶した。

議長解任で才田副会長は「ライフ・サポートセンターの事業として、子育て支援、福祉なんでも相談に、この石川勤労者互助会を加え、さらに、この秋から就業支援である職業無料紹介事業を展開し、LSCを『暮らしの総合サポートセンター』と位置づけたい」と述べた。

最後に綿副会長が閉会の辞で、新組織について「スタート時は会員組織の力を借りて運営し、将来はライフ・サポートセンターの活動の一環として、一般勤労者が運営に関わらなければならない」と力強く総代会を締め括った。

北陸労金石川県本部次長 津田 勝



新 役 員

会 長	川口 昭一	石川労信協理事長
副 会 長	才田 巖	石川労福協専務理事
〃	綿 征一	石川労福協常務理事
〃	長田 孜	北陸労金石川県本部副本部長
事務局 長	谷内 英明	県LSC事務局次長
会計監査	一明 政行	県LSC事務局次長



北陸ろうきんからのお知らせ

I. 2008年生活応援スプリングキャンペーン

1. 取扱期間 2008年3月19日(水)～5月31日(出)
2. 名称 2008年生活応援スプリングキャンペーン
3. キャンペーン内容

(1)期間中、下記対象商品を新規ご契約いただいた方に抽選で600名様にお好きなコースの賞品をプレゼントします。

(2)対象となる方

- ①新社会人(新入組員)の方
- ②退職者の方(2008年3月以降に退職された方)

(3)対象商品

新社会人(新入組員)の方	退職者
給与振込	「北陸ろうきん投信プレミアムプラン」
カードローン「マイプラン」	「エース年金プレミアム」
財形貯蓄(一般・住宅・年金)	国債 投資信託
エース預金	年金振込 定期預金

(4)抽選プレゼント賞品

Aコース	クロス ボールペン
Bコース	ル・クルーゼ ラムカン・ダムール(フタ付)
Cコース	柿安 特選カレーセット

4. 抽選日 2008年6月理事会
5. 賞品発送 2008年7月下旬

II. インターネット・モバイルバンキングのサービス機能拡充

インターネット取引の拡大に合わせて、顧客利便性の向上及び業務効率化等を図るため、このたび3月17日から個人版インターネット・モバイルバンキングのサービスを拡充しました。(現在、利用手数料は免除中。)

【主なサービス拡充の概要】

科 目	サービス内容
定期預金・エース預金	残高照会、新規預け入れ(通帳不発行)、入金、支払
積立定期預金・定期積金	残高照会
財形貯蓄	残高照会・支払(※1)
証書貸付	残高照会、繰上返済、全額返済、残高照会

※1 あらかじめ当金庫と事業主の取り決めがある場合ご利用できません

中央労福協主催 第1回地方労福協会議



中央労福協は3月13日・14日の両日、名古屋市の「ワークプラザ・れある」で今年度第1回の地方労福協会議を開催。08年度上期の活動計画や当面の政策課題などについて確認した。

会議では冒頭、笹森清会長が多重債務対策やクレサラ高金利引き下げの闘いを評価し「劇的な仕上がりで成果を勝ち取った。割賦販売法改正も順調に推移しており、今回、種々のジャンルの人々と一緒に活動することにより、運動が広がることを経験した」と総括し、今後の取組みについて「労福協運動は、働く人たちとその家族の生活をどう支援していくのか、という運動の原点に戻り、壊された地域コミュニティの再生に向けて運動することが我々の役割だ!」と語り、「そのためには、ライフ・サポートセンターを本気で手がけ、地域で役割を果たすことが求められている」と地域運動の重要性を強調した。

主要報告では、割賦販売法改正に向けた3月6日の265万筆の請願署名提出、院内集会の実施、国会をめぐる動きなどを高橋均事務局長が報告した。

また、主要な課題である多重債務者対策や連合のワンストップサービスの取組み、生活保護問題の改善と対策の3点についても話し合われた。

引き続き、金城学院大学大山小夜准教授が「多重債務者の実態と多重債務問題解決の方向性」と題して講演し、労金気づきキャンペーンの中間結果と08年度の方針について労金協会の千原茂昭氏が報告した。



大山小夜准教授

2日目は、連合のワンストップサービスについて大塚敏夫総合組織局長が報告し、生活保護問題対策全国会議事務局長の猪股正弁護士が生活保護をめぐる現状と課題について話し、7月から実施する全国キャラバン・キャンペーンの紹介と協

福島県労福協来局

3月25日(火)、福島県労福協の馬目重信副会長(東北労金福島県本部長)、菅野敏夫事務局長ら8名と小牟田稔之中央労福協事務局次長(北部担当)の9名が、石川労福協のライフ・サポートセンター活動の視察研修で来局した。

菅野事務局長が「福島県労福協では、県内6地域にライフ・サポートセンター(LSC)を立ち上げるため協議している。是非、石川労福協の運動を参考にしたい」と挨拶した後、石川労福協の才田巖専務理事がパワーポイントでLSCの活動状況と財政や立上げに関わる経過、緊急サポートネットワーク事業の概要、福祉なんでも相談のシステムを説明した。また、綿征一常務理事が各事業団体・自治体からの負担金・補助金について説明した。

一行からは、LSCと退職者連合・ろうきん友の会・生協連との関係や事業団体を支える諸活動、LSCの行事内容、緊急サポートネットワーク事業でのトラブルの有無などについて質問が出された。

後日、福島県労福協の菅野事務局長から「建設的で貴重な話を伺い出来、大変勉強になりました。是非これを福島版ライフ・サポートセンター事業に活かすべく、更に研究を深めたい」との御礼文が届いた。



力を要請、連合の取組みについて小島茂総合政策局長が報告した。

尚、同会議には石川労福協より才田巖専務理事が出席した。



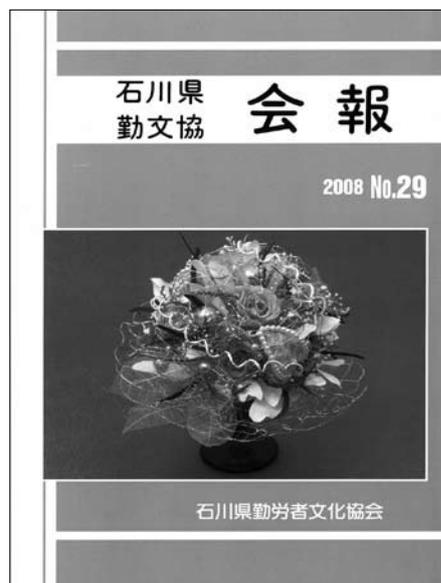
猪股正弁護士

勤文協 会報No.29号を発行

石川県勤労者文化協会は「会報No.29号」を3月30日に発行した。

会報の顔である表紙に当協会役員であるフラワーデザイナーの舟見柚有子氏の作品「紅水晶(ローズク

オーツ)」を掲載。作品は、ルコブルーの花器にピンクの薔薇とパールの銀、また加工された朱色のウイロユーカリやスケルトンリーフの薄紫、花卉をあしらったペーパーフラワーの白と花模様



に造形された金色のワイヤーが映え、作品全体が透明感にあふれ、正に紅水晶そのものの表紙となった。

会報の主な内容は、第57回勤労者美術展で最高賞(厚生労働大臣賞)を受賞された5名の喜びに加え、いま社会問題となっている「地球温暖化」対策の一つとして、食材の地産・地消の拡大や発展途上国と先進国との協調・共生などを掲載した。

また、中心的事業である勤労者美術展や各展覧会の紹介、書道家氷田清風先生の書との出会い、青春時代での戦争体験や生命の尊さ「この道をゆく」の他、一般からの投稿作品も多くページが若干増えたものの、見応えのある文集となった。

石川県勤労者文化協会 事務局長 田上照夫

第40回石川県勤労者 第79回メーデー協賛 写真サロン展

作品募集締切 5月25日(日)



2007年勤文協会長賞 大川ひろみ氏 提供



2007年メーデー賞 中井龍雄氏 提供

2008年開催日程

金沢展	ラブリック7F アートシアターいしかわ 6月5日(木)~6月8日(日)	七尾展	フォーラム七尾バリア4F 中ホール 7月10日(木)~7月14日(月)
珠洲展	ラポルトすず市民ギャラリー 6月10日(火)~6月16日(月)	輪島展	輪島市文化会館 2F 展示室 7月16日(水)~7月22日(火)
美川展	美川コミュニティプラザ 6月18日(水)~6月23日(月)	小松展	小松大和 7F 大和会員サロン 7月24日(木)~7月28日(月)
根上展	能美市根上総合文化会館 アートギャラリー 6月26日(木)~6月30日(月)	松任展	プラスあさがお松任(ジョイモール 2F) 8月7日(木)~8月10日(日)
加賀展	アビオシティ加賀 情報プラザ 7月3日(木)~7月7日(月)		

※展示は、いずれも各会場オープン時刻より午後5時まで(ただし、各会場とも最終日は午後3時まで)

主催 石川県勤労者文化協会 共催 金沢市 七尾市 小松市 輪島市 珠洲市
後援 北國新聞社 石川県メーデー実行委員会 労福協 加賀市 白山市 能美市
問い合わせや作品公募要項の請求は、石川県勤労者文化協会(金沢市西金3-3-5 TEL.076-231-1748)へ

勤体協 第42回春季体育大会が開幕

石川県勤労者体育協会主催「第42回冬季体育大会」のバスケットボール大会最終戦と「第42回春季体育大会」のトップを切って、バレーボール大会とソフトボール大会がそれぞれ開催された。

「バスケットボール大会」は3月23日、今年3月末で閉館する県体育館で行われ、男子の6組はM☆MがK Y中能登を61-41、7組は七尾数取団がリガメントを56-40でそれぞれ下して優勝した。白山市若宮体育館で行われた女子2組は田鶴浜クラブが2連覇を果たした。

「バレーボール大会」は4月13日、金沢市総合体育館で行われ男子でBlood Stone、女子で兼六ビクトリー、ママさんで額イーグルが優勝した。

「ソフトボール大会」も4月13日に金沢市営専光寺ソフトボール場でA・B組が行われ、A組で県職パワーズ、B組でハスキーが優勝した。

2008 第42回 石川県勤労者 春季体育大会

開催	開催日	種目	場 所	申込〆切日	七 尾	
金沢	4月13日(日)	バレーボール	金沢市総合体育館	3月31日(月)	7月6日(日)	
金沢	4月13日(日)	ソフトボール	専光寺ソフトボール場	3月31日(月)	七尾市能登島向田町	
金沢	5月4日(日)	ソフトボール	専光寺ソフトボール場	3月31日(月)	ひよこりのとしま2008	
金沢	5月11日(日)	ソフトボール	金沢テクノパーク運動広場	3月31日(月)	能登島ロードレース	
金沢	5月18日(日)	ソフトボール	金沢テクノパーク運動広場	3月31日(月)	(第11回大会)	
白山	4月29日(祝)	道 鶴 来 弓 道 場	4月21日(月)	スタート=	能登島生涯学習総合センター	
金沢	4月29日(祝)	メーデーボウリング	ジャンボボール	4月21日(月)	ゴール=	能登島総合健康センター
金沢	5月1日(木)	メーデーロードレース	中央公園前スタート	4月21日(月)	・10km森林コース	
金沢	5月18日(日)	剣 道	石川県武道館	5月8日(木)	・ハーフ海浜周回コース	
金沢	5月25日(日)	メーデー編纂索引	金沢市城西体育館	5月19日(日)	申込〆切日 5月30日(金)	

主催 (申込先) 「道びん」という名の夢を健康社会にかえる
石川県勤労者体育協会
金沢市西金3丁目3番5号
TEL 076-223-6675
FAX 076-223-6775

後援 北國新聞社
石川県教育委員会
石川県勤労者福祉協議会

地域ライフ・サポートセンターだより

加 賀

加賀ライフ・サポートセンターは、3月に入り「錦城学園生招待ボウリング大会」「第5回ソフトバレーボール大会」「ユニバーサル・スタジオ・ジャパンバスツアー」を相次いで開催した。

報告：加賀LSC事務局 角谷代志子

錦城学園生招待ボウリング大会

ボランティア部会活動の一環として、今年も3月11日(火)錦城学園(知的障害者施設)生51名を招待し「ボウリング大会」を実施。学園からの送迎や大会運営をサポートするなど、楽しいひと時を過ごした。



この事業は、毎年恒例となっており、学園の皆さんも身体いっぱいの喜びと感謝を表すなど、LSCの有意義なボランティア活動の一環となっている。

第5回ソフトバレーボール大会

3月23日(日)、LSCや連合地協から12チーム・96名が参加し「ソフトバレーボール大会」を開催した。



優勝は大同チーム、準優勝は山中勤労協、3位は加賀村田BとJPチームが入賞。MVPに大同の黒谷さん、ハッスル賞に山中勤労協の畑さんを選んだ。

会場は、選手のハッスルプレーと応援合戦で熱気に溢れた。また、試合後は各チームの「打ち上げ」で、大変盛り上がった模様？

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンバスツアー

今年度をしめくくる活動として、3月29日(土)USJバスツアーを行った。



参加者の大人27名と小人15名は、春休みで真っ只中、今年最高の人出で混み合う会場で、人気アトラクションの2～3時間待ちを経験。

映画セットの中にいるような、お目当てのアトラクション1～2箇所を楽しみ、満足して頂いた。

LSC役員から、これからの活動に対する協力をお願いし、無事帰路についた。

輪島・穴水

能登半島地震から1年 「花いっぱい運動」展開



能登半島地震から1年を迎え、「明るく元気な能登をとり戻そう」を合言葉に3月20日、輪島・穴水ライフ・サポートセンター主催、全労済石川県本部、県ライフ・サポートセンター共催の「花いっぱい運動」を開催した。

当日は、贈呈式に先立ち輪島労館前で上野正剛輪島・穴水LSC会長が「今、能登は皆さんの支援活動で着実に復興しています。1年を迎え、今一度、被災者のみなさんを勇気付け、きれいな花で明るい能登をとり戻そう」と挨拶。橋本和雄全労済県本部理事長と高田正男輪島市議会議員が激励した。

この後、参加者20名は4班に分かれて、輪島市の道下・山岸・宅田、穴水町の大町、計4カ所の仮設住宅をそれぞれ訪問した。

仮設住宅に到着後、各区長にパンジー、さくら草を中心とした色とりどりの鉢を計250鉢プレゼント。ただ、当日は復興イベントが各地で開催され、当初予定の仮設住宅入居者への激励訪問はできず、代表者への一括贈呈となった。区長からは「ライフ・サポートセンターには昨年いただいた激励の色紙やおかゆセットに引き続き、今回はこんなきれいな花をプレゼントされ、町全体が本当に明るく元気になると思います」とお礼の言葉が述べられた。

翌日は能登地区の労働組合を訪問し、被災組合員へ同じ鉢植えの花をプレゼントし今回のイベントを終了した。

前・県LSC事務局次長 南野 利明

県LSCの事務局スタッフが交代

全労済石川県本部から派遣されている県LSCの事務局スタッフが昨年と同様、4月1日付けで交代した。

一年間と短期間となったがLSCの活性化に努力してきた南野利明氏に代わり、前任の一明政行氏が就任。



南野氏(左)より一明氏に交代

今後は、北陸労金石川県本部から派遣されている谷内英明氏と緊急サポートネットワーク事業の直江圭祐アドバイザーと共にLSC運動を展開する。